

エコルとごし大型企画展「草木の恵みと布のものがたり」の開催について

1. イベント名 高須賀活良作品展 「草木の恵みと布のものがたり」
2. 開催期間 令和7年2月26日（水）～3月23日（日）
3. 会場 品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」（豊町2-1-30）

3. 開催概要

（1）展示 楮（こうぞ）作品・草木染め作品の展示

布と人の関係性をテーマに活動を行う高須賀活良の作品を通して、草木の恵みから始まる布の循環の物語、そして私たちの身近な衣服のもとである「布」に焦点を当て、作品を鑑賞するだけでなく、「布と環境について」考える機会となることをめざす。

（2）関連イベント 「着なくなった服で織物のコースターを作ろう！」

古くなった布を裂いて織る「裂き織り」体験として、不要になった服やシーツなどを再利用し、オリジナルコースターを作成する。

○日時 3月8日（土） 午前10時～正午

○講師 高須賀活良

4. その他

（1）周知方法

区立保育園・幼稚園、児童センター等の区有施設および
近隣商店街、服飾・美術系大学等へチラシを配布

（2）広告協力

東急電鉄 都内東急線駅構内ポスター、デジタルサイネージへの掲出

草木の恵みと

布のものがたり

たかすかかつら
高須賀活良
作品展



2025年 2/26(水) — 3/23(日)



会場 品川区立環境学習交流施設 エコルとごし 開館時間 7時~21時30分
*観覧は無料です。どなたでも自由にご覧いただけます。*期間中の休館日はありません。



この印刷物は、適切に管理されたFSC®
認証林、再生資源およびその他の管理され
た供給源からの原材料で作られています。

たかすか かつら
高須賀活良
作品展

草木の恵みと
布のものがたり

服やインテリアなど生活に必要な布はどこから生まれ、どこへ向かうのでしょうか？ 石器時代から現代に至るまで、布の源はいつも自然の中にあります。人々は自然由来の素材に感謝しながら、糸や染料にして大事に布を作り上げてきました。この展示では、布と人の関係性をテーマにアート活動を行う高須賀活良の作品を通して、布が自然から生まれ、人の手で形作られ、再び自然に戻る、土から始まる布の循環の物語を紹介します。

作家プロフィール

東京造形大学テキスタイルデザイン専攻、2011年修士号取得。
モノづくりの起点である「土」に着目し、原始布を研究。
国内外で作品を発表する一方、織物産地でのテキスタイルデザイン、
ブランド立ち上げ、アートディレクターとしても活動。
織物を楽しく学べる教科書「ハタオリ学」の編集著者として
2024年グッドデザイン賞受賞。



たかすか かつら
高須賀活良
アーティスト・ディレクター



『Rebirth』さいたま市プラザノース 2015年

期間中、総合室内でクイズカードを配布します。展示を見ながらクイズに答えてね！

関連イベント

着なくなった服で織物のコースターを作ろう！

古くなった布を裂いて、紐状にして織る「裂き織り」を体験します。
家にある古布や古着を再利用して、オリジナルのコースターを作りましょう！



いろんな色が
あると楽しいよ！



日 時： 3/8(土) 10:00-12:00
会 場： 3F多目的スペース
参 加 費： 無料
講 師： 高須賀活良
対 象： 小学生～どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)/20名
申込期間： 1/25(土)～2/15(土)
*上記期間中に、エコルとごしHPまたは往復はがきにてお申込みください(必着)
持 ち 物： 横糸として使用する「裂き布」
不要になったTシャツ、シーツ、手ぬぐいなどを、
幅1～2cm程度の紐状にカットしてお持ちください。
1枚のコースターを作るのに、紐状にして約4～5m必要です。



>>アクセス

東急大井町線 戸越公園駅・下神明駅より徒歩7分
都営浅草線 戸越駅より徒歩12分、
東急池上線 戸越銀座駅より徒歩15分
*駐車場はありません。公共交通機関の利用にご協力ください。